ハンドマイク街頭演説原稿例　「失われた三十年」は政治の責任

二〇二五年二月二十日　日本共産党埼玉県委員会・作成

　ご近所のみなさん、日本共産党です。この場所をお借りして、日本共産党の政策を訴えさせていただきます。しばらくの間ご協力をお願いいたします。

　今年の夏には参議院選挙が行われます。昨年の衆議院総選挙で自民・公明の与党が過半数に届かなかったことで、私たちの願いが実現するチャンスが生まれました。今度は参議院でも与党を少数に追い込み、願い実現のチャンスをさらに大きくするために、日本共産党を大きくすることがどうしても必要です。日本共産党は政党を選ぶ比例代表で、はたやま和也・元衆議院議員を含む５議席の獲得、定数４の埼玉選挙区で現職の伊藤岳参議院議員の再選をかちとるため、全力で頑張ります。日本共産党にみなさんのお力をお貸しくださいますよう、よろしくお願いします。

　さてみなさん、「失われた三十年」という言葉を聞いたことがある方も多いのではないでしょうか。この三十年間、日本の経済が上向かないままできました。この原因はどこにあるのでしょうか。私たちは、政治の責任が大きいと考えています。そもそも、国民から集めた税金で生活、人権、平和を守るのが政治の仕事です。ところが、長年続いた自民党と公明党の政権は、国民に負担をかぶせる一方で、一部の巨大企業やアメリカの利益を優先する政治を続けてきました。このツケが、今、私たちの暮らしに重くのしかかっています。

　例えば消費税です。福祉の充実のためなどと言われてきましたが、実態はどうでしょうか。一九八九年に消費税がスタートしてから今までの三十七年間で国民が払った消費税の合計は五百七十一兆円にのぼります。ところが同じ時期に大企業や大金持ちを中心に法人税や所得税、住民税がどんどん減税され、同じく三十七年間で六百五兆円の減収となりました。福祉のためではなくて、大企業や大金持ちの減税の穴埋めに使われたのが消費税ではありませんか。

　また、防衛費が急速に増やされています。社会保障や教育など、私たちの暮らしを支えるための予算については「財源が厳しい」と無理やり切り詰めているのに、防衛費は財源におかまいなしの増額が続いています。それも、増やしているのは外国に攻め込むタイプの軍備ばかりです。軍備を増やせとのアメリカからの要求を、いいなりに実行してきた結果です。これでは、お金がいくらあっても足りなくなるのは当然ではないでしょうか。

　日本共産党は、国民の暮らしを守ることより巨大企業やアメリカの利益を優先する政治をおおもとからただす、ホンモノの改革を提案しています。大企業や大金持ちにしっかり税金を納めてもらい、軍事費を減らすなどすれば大きな財源をつくれます。そのお金で消費税の引き下げや学費値上げの中止、最低賃金を時給１５００円以上に引き上げるための対策を行うことができます。

　みなさんの願いに応える、ホンモノの改革を実現できるのが、企業・団体献金も政党助成金もいっさい受け取っていない日本共産党です。日本共産党へのご支持、ご協力をよろしくお願いいたします。

　自民党の裏金問題を最初にスクープした、日本共産党の発行する「しんぶん赤旗」をこの機会にぜひお読みいただきますようお願いいたしまして、この場所をお借りしての日本共産党の政策の訴えを終わります。ご協力ありがとうございました。（了）